

フォトスタンド

1 活動の概要

焼き板の創作に、初心者でもできる木工作業を組み入れた写真立て作りです。寸法をとり、ハンドノコギリで部品を切り取り、その部品をバーナーで焼きます。焼き終えた後は、磨き上げを行い、部品を組み立て、ポスターカラーでオリジナルデザインをすることで、長く飾れるフォトスタンドが作れます。

2 ねらいとして考えられるもの

創作活動をとおして、豊かな創造性や感性を育む。

3 活動時期

通年

4 活動場所

創作工作室、創作工作室裏

5 活動人数

少人数～40人程度

6 所要時間

2～3時間

7 指導依頼について

- (1) 基本的には、引率（担当）者の方に直接指導していただきます。事前打合せに来所した際に指導手順について、ネイパル職員が引率（担当）者の方に指導します。
- (2) どうしても団体で指導できない場合は、ネイパル職員が指導しますが、他の利用団体の活動状況やネイパル職員の勤務の関係上、全ての指導依頼に答えられない場合があります。
- (3) 指導依頼をした場合でも、全ておまかせの状態にならないよう、参加者の掌握や安全管理について指導補助をお願いします。

8 団体が準備するもの

(1) 参加者

軍手 筆記用具（えんぴつ） 組立後のデザインの下絵（必要時）

(2) 引率者（指導者）

クラフト用木板（ネイパルで購入も可 トドマツ材木板 1枚 120円）

木の実や小枝などの装飾材料（必要に応じて）

9 ネイパルで貸し出しできるもの

- 型紙 定規 ハサミ ハンドノコギリ ブルーシート
ハンドガスバーナー たわし 布きれ
ホットボンド（木工用ボンド） ポスターカラー
掃除用具（机拭き用・床拭き用ふきん、ほうき、ちりとり）

10 活動にかかわって

(1) 実施上の注意点

- ①ガスバーナーとノコギリの使い方には十分に注意を払ってください。
- ②活動場所が分かれるので、各作業場所に引率（担当）者が配置しているようお願いいたします。
- ③1つのテーブルには、4～5名で活動しますので、事前のグループ分けをお願いいたします。

(2) 展開例（1グループ4～5人程度）

活動手順	内 容	時間例
用具の準備	①板の準備（ネイパル職員が用意します） ②工作室前のテーブルに使用する道具を一式用意する。 （完成見本品、型紙、ハサミ、定規、ハンドノコギリ、ホットボンド、たわし・布きれ・組立前のガスバーナーなど）	5分
説 明	①寸法の取り方について。 ②ハンドノコギリの使い方と使用後の扱い方について。 ・切るときは工作室の椅子を土台として使用すること。 ・使い終わったら、しっかりとカバーをして元の場所へ戻すこと。 ③ハンドガスバーナーの組み立て方と使い方について。 ・バーナーの金属部分に触れないこと。 ・赤いボタンを押すことで火が付くこと。 ・ガスの調整の仕方について。 ・バーナー使用者の前に立たない、周りでふざけないこと。 ④風が強い時やガスの出量が多い時の注意点について。 ⑤バーナーを人には絶対に向けないこと。 ⑥焦げをたわしで落とすときは、木目にそって落とすこと。	15分
創作手順	①板に寸法を取る。 ・型紙を参考にして、定規を使って板に寸法を引く。 ・寸法を引き終えたら、使用していた定規や筆記用具を片付け、元の場所（筆記用具はテーブルの下）に戻す。 ②ハンドノコギリで部品を切り取る。 ・工作室後方にブルーシートを敷き、工作椅子を台にする。 ・引いた線に合わせて、ハンドノコギリで部品を切り取っていく。	2時間

<p>創作手順</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 線通りに切り取れなくても問題はない。 • どの部品から切り取ると作業が行いやすいかを考えさせながら、切り取るように促していく。 • 切り終えたら、ハンドノコギリのカバーをしっかりとし、元の箱に戻す。(安全面確保のためにも、刃を出しっぱなしにして放置しない。) ③切り取った部品、軍手を持って創作工作室裏に移動する。(焼き作業に必要な道具は、工作室裏口付近にあります。) ④ハンドガスバーナーで部品を焼く。 <ul style="list-style-type: none"> • ハンドガスバーナーを組み立てる。 • ガスを調節するつまみを時計回りに動かし、ガスを出していく。 (出しすぎると、火の勢いが強く、火傷をする恐れがあるので注意します。) • 赤いボタンを押して、火をつける。 • 必ず軍手をして、周囲の人とある程度の間隔を取りながら、各部品を真っ黒になるまで焼く。 ※風が強い時やガスの噴出が多いときは、火が消えることがあるので注意します。 • 焼き終わったら、ガス調整のつまみを反時計回りに回し、火とガスを止める。(金属部分はとても熱くなっているので絶対に触れないようにしましょう。) ⑤板の表面を木目に沿ってたわしでこすり、焦げを落としていく。 ⑥布きれで磨き、焼いた部品につやが出るように磨く。 <ul style="list-style-type: none"> (さわっても手が黒くならなくなるまできれいにします。) ⑦磨き終わったら、使用した道具をそれぞれのかごに戻し、工作室内に戻る。 ⑧ポスターカラーを使用し、個人のデザインを描く。 ⑨部品や装飾をホットボンド(木工用ボンド)で付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ※ホットボンドの先端部や溶けたボンドは熱いので触らないように注意を促す。 ⑩完成 	
<p>後片付け</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①工作室裏は水をまき、焦げがついている部分をブラシでこする。 ②工作室内は、落ちた木くずやテーブル上の木くずごみを掃く。 ③机拭き用の雑巾を使用し、テーブルの上を拭く。 ④床が汚れている場合は、床拭きも行う。 ⑤椅子をテーブルの上に戻す。 ⑥引率(担当)者による点検終了 	<p>20分</p>

寸法の取り方 (型紙)

